

令和6年度
各務原市の**教育**

各務原市教育委員会

市教育方針

各務原市教育大綱

基本理念

笑顔があふれる元気なまちへ ～心豊かで文化を育む人づくり～

基本方針

- I 心豊かでたくましく、自立した人間形成を支える教育を推進します
- II 文化的で潤いのある市民生活を支える学びの機会を充実します
- III 健康で活力ある地域づくりを支えるスポーツ活動を推進します

令和6年度教育委員会の主な事業



教育機関等

教育委員会の構成

(R6. 7. 13 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	丹羽 章	令和 6. 7. 13	令和 6. 7. 13 ~ 令和 9. 7. 12
委 員	大友 克之	平成 26. 3. 27	令和 4. 3. 27 ~ 令和 8. 3. 26
委 員	大堀 憲	平成 30. 7. 30	平成 4. 7. 30 ~ 令和 8. 7. 29
委 員	林 ゆり	令和 2. 12. 19	令和 2. 12. 19 ~ 令和 6. 12. 18
委 員	小島 聡太郎	令和 4. 7. 1	令和 5. 5. 16 ~ 令和 9. 5. 15
委 員	松原 裕子	令和 6. 7. 1	令和 6. 7. 1 ~ 令和 10. 6. 30

行政組織

【教育委員会事務局】

教育施設整備推進室	新総合体育館整備推進係 新特別支援学校準備係
総務課	総務係 教育政策係
学校施設課	施設管理係
学校整備推進室	学校整備推進係
学校教育課	学務係 保健係 指導係
青少年教育課	青少年教育係
少年センター	
文化財課	文化財係
スポーツ課	スポーツ振興係 施設係
グリーンスタジアム管理室	

【教育機関】

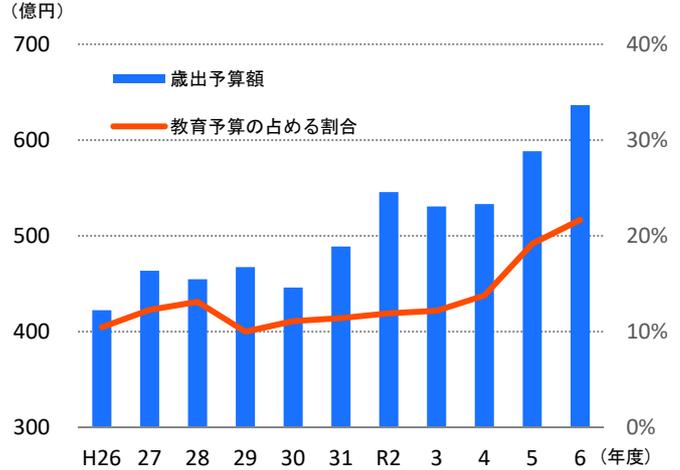
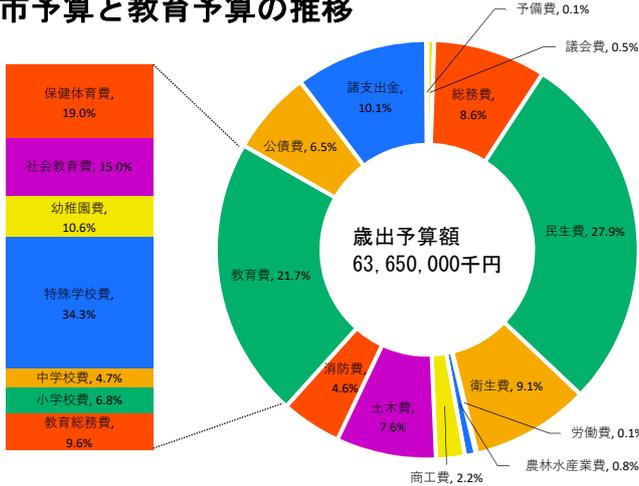
小学校 (17校)	那加第一 那加第二 那加第三 尾 崎 稲羽西 稲羽東 川 島 鵜沼第一 鵜沼第二 鵜沼第三 各 務 緑 苑 八木山 陵 南 蘇原第一 蘇原第二 中 央
中学校 (8校)	那 加 桜 丘 稲 羽 川 島 鵜 沼 緑 陽 蘇 原 中 央
特別支援学校 (1校)	各務原特別支援学校
教育センター (すてっぷ)	相談係 研修係
埋蔵文化財調査センター	埋蔵文化財係
歴史民俗資料館・木曾川文化史料館	歴史民俗係
中央図書館	総務係 図書係
川島ほんの家	庶務係
中央ライフデザインセンター 図書室	
もりの本やさん・森の交流館	
少年自然の家	庶務係
学校給食センター	庶務係

【産業活力部 (教育委員会補助執行分に限る)】

いきいき楽習課	いきいき楽習係
中央ライフデザインセンター	
西ライフデザインセンター	
川島ライフデザインセンター	
東ライフデザインセンター	

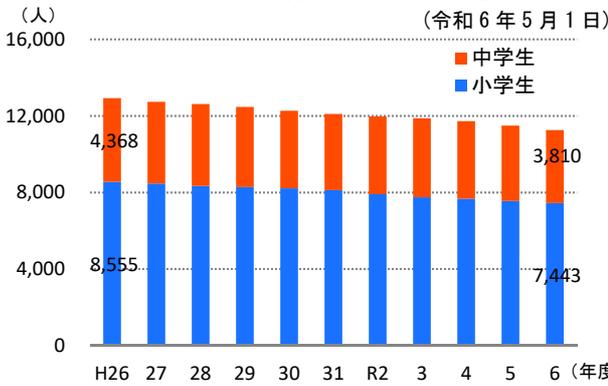
市教育予算

市予算と教育予算の推移



学校教育

市内小中学校に在籍する児童生徒数

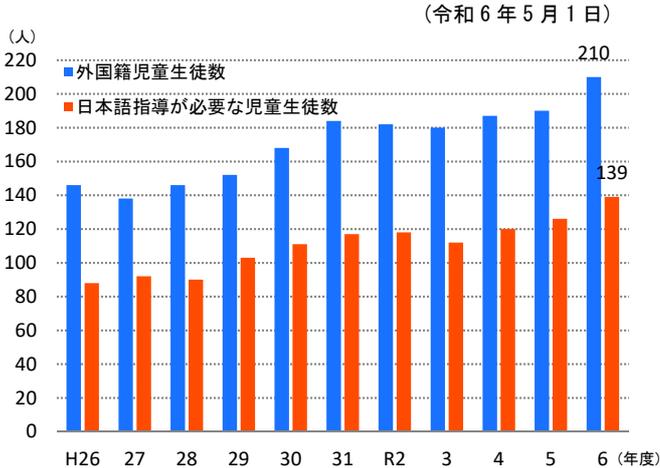


小学校・中学校学級規模別学級数(公立)

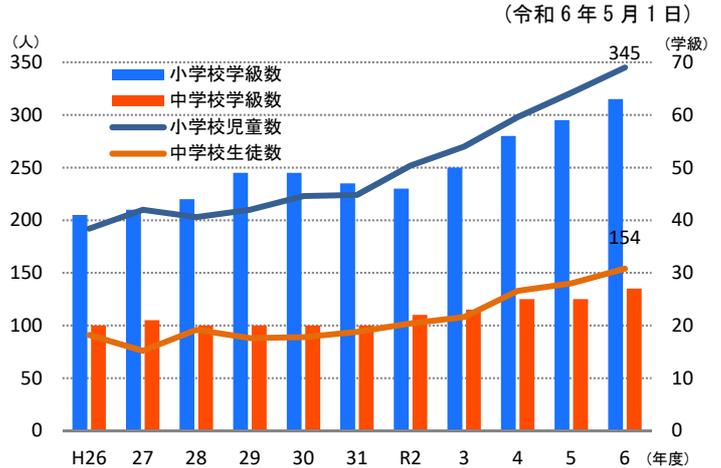
(令和6年5月1日)

区分	8~12人	13~20人	21~25人	26~30人	31~35人	36~40人
R6	小学校	1	17	30	96	100
	(%)	(0.4)	(6.9)	(12.2)	(39.2)	(40.8)
R5	中学校			3	17	95
	(%)			(2.6)	(14.7)	(81.9)
R5	小学校		11	39	79	117
	(%)		(4.5)	(15.9)	(32.1)	(47.6)
R5	中学校			3	26	92
	(%)			(2.5)	(21.5)	(76.0)

外国籍児童生徒数と日本語指導が必要な児童生徒数



特別支援学級に在籍する児童生徒数と学級数



教育センター相談件数・相談内容

(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

相談件数 2,183件	電話	来所	訪問	不登校	発達性格	学業進路	いじめ	友人関係	家族・親子関係	学校への不満	教職員相談	その他
件数	638	1,386	159	954	1,136	330	7	34	228	69	35	38
割合	29.2%	63.5%	7.3%	43.7%	52.0%	15.1%	0.3%	1.6%	10.4%	3.2%	1.6%	1.7%

※累計につき、重複あり

学校給食の状況

(令和6年5月1日)

区分	学校		食数	給食費(円/食) (保護者負担額)
学校給食センター※	小学校	那加一、那加三、稲羽東、鶴沼二、緑苑、陵南、各務、蘇原一、蘇原二、中央	4,756	266
	中学校	稲羽、中央	1,090	299
	各務原特別支援学校		83	299
単独調理校	小学校	那加二、尾崎※、稲羽西※、川島※、鶴沼一※、鶴沼三※、八木山※、	3,315	266
	中学校	那加、桜丘※、川島※、鶴沼※、緑陽※、蘇原※	3,047	299

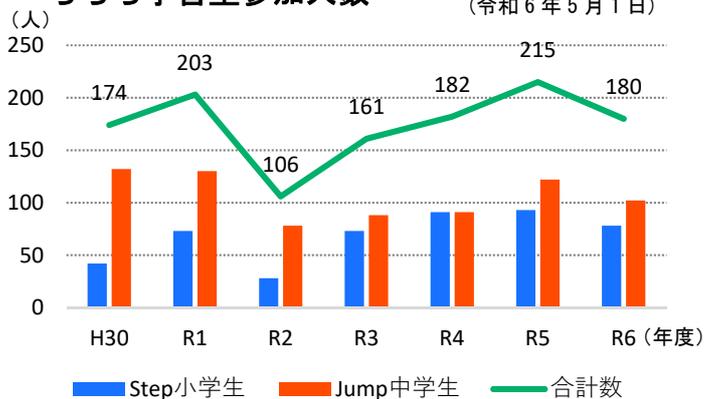
注1：※は調理業務を民間委託している施設及び学校

注2：川島小・川島中は共同調理場

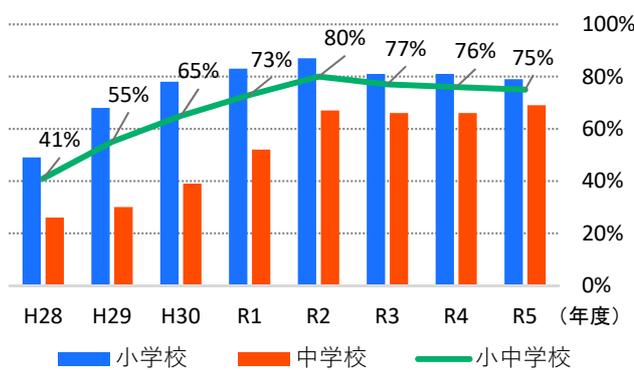
注3：物価高騰に伴い、児童生徒に係る給食費の一部を市費で負担（上記金額に含まない）

ららら学習室参加人数

(令和6年5月1日)



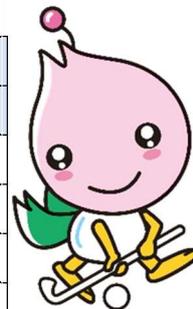
ボランティア活動歴50回以上達成者の割合



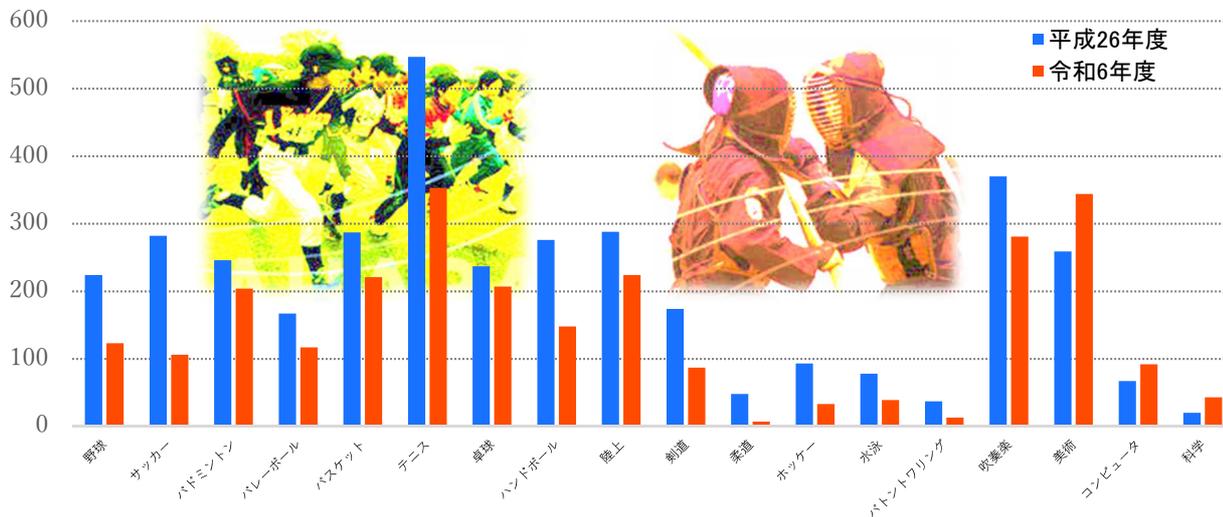
児童生徒の平均身長・平均体重

(令和5年度)

		小学校						中学校		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	身長 cm	116.7	122.3	128.2	133.5	138.8	145.4	153.5	160.2	165.6
	体重 kg	21.3	23.7	27.1	30.5	34.2	38.5	43.7	49.1	54.0
女	身長 cm	115.5	121.2	127.6	134.2	140.6	147.5	152.2	154.9	156.6
	体重 kg	20.6	23.2	26.5	30.3	34.5	40.0	43.1	46.7	49.2



市内中学校部活動生徒数の比較



社会教育

図書館事業

(令和6年3月31日)

施設名	所蔵冊数	貸出冊数	貸出者数
中央図書館	388,302	592,227	220,020
川島ほんの家	91,372	72,977	13,856
中央ライフデザインセンター 図書室	26,717	93,539	18,172
もりの本やさん・森の交流館	36,030	120,882	22,024
移動図書館	5,588	17,284	3,523
電子図書館	2,208	15,616	※

レファレンス件数	
利用案内	4,840
所在案内	12,375
調査	112

各務原市図書館マスコットキャラクター
ブックイー



※電子図書館の貸出者数は貸出冊数と同数

令和6年度実施予定の主な生涯学習・芸術文化事業

事業名	開催日	場所
自然体験塾講座	週末(年末年始除く)	各務野自然遺産の森
夏休み子ども講座	夏休み期間	各ライフデザインセンターほか
子ども起業家育成講座	商品開発部門 6月29日(土)~8月24日(土) (全5回) お仕事体験部門 未定(全6回)	川島ライフデザインセンター
各務原市美術展	10月19日(土)~27日(日)	あすかホール
高校生美術展	12月5日(木)~8日(日)	あすかホール
少年美術展	12月11日(水)~16日(月)	あすかホール
各務原マーケット日和	11月3日(金・祝)	学びの森、市民公園ほか
「清流の国ぎふ」文化祭2024 (吹奏楽の祭典、新作オペラなど)	会期 10月14日(月・祝)~11月24日(日)	プリニーの市民会館ほか

令和6年度実施予定の主なスポーツ大会

事業名	開催日	開催場所
市民スポーツ大会	5月26日(日)	プリニーの総合体育館ほか
スポーツげんき祭	10月14日(月)	市民公園ほか
かかみがはらDE ウォーキング2024	11月24日(日)	河川環境楽園発着
かかみがはら シティマラソン2025	3月2日(日)	川崎重工ホッケースタジアム発着

指定文化財件数

(令和6年4月1日)

区分		国指定	県指定	市指定
有形文化財	建造物	1		4
	絵画			3
	彫刻		2	5
	工芸品			5
	書跡・典籍・古文書		2	3
	考古資料	1	1	7
	歴史資料			
無形文化財				
民俗文化財	有形民俗文化財	1		3
	無形民俗文化財			1
記念物	史跡		7	14
	名勝	1		
	天然記念物			9
計		4	12	54
登録有形文化財		61		



旧川上家別邸
国指定重要文化財



学校施設等の状況

(令和6年5月1日)

区分	学校名	創立年月	建物面積 (㎡)					校地面積 (㎡)					児童・生徒数	学級数	教職員数
			校舎面積	保有控除面積		体育館	部室	建物敷地	運動場	その他	借用地	計			
				校舎	格技場										
小学校	那加第一小学校	M6.4	6,874	50		1,168		23,805	12,205	4,099		40,109	893	34	60
	那加第二小学校	S15.4	5,637	257		1,035		13,752	16,747			30,499	429	16	40
	那加第三小学校	S26.4	4,871	71		930		10,390	9,150			19,540	419	15	33
	尾崎小学校	S51.4	5,177	256		866		9,980	12,800	22,646		45,426	165	8	23
	稲羽西小学校	S38.4	5,324	268		1,276		9,166	10,296	954	2,505	22,921	323	16	31
	稲羽東小学校	M6.2	3,443	70		924		7,673	7,853			15,526	120	8	21
	川島小学校	M6.4	6,059	1,090		1,655		10,129	11,618	104		21,851	725	29	56
	鵜沼第一小学校	M6.2	5,553	274		826		8,038	11,735	635		20,408	610	23	46
	鵜沼第二小学校	S24.4	5,786	127		1,081		6,321	8,836			15,157	654	24	45
	鵜沼第三小学校	S49.4	6,044	247		867		10,618	8,405	907		19,930	634	28	55
	緑苑小学校	S51.4	4,933	232		867		11,000	8,936	18,730		38,666	112	7	17
	八木山小学校	S52.4	4,475	259		858		10,379	8,575	2,850		21,804	156	9	21
	陵南小学校	S59.4	4,768	262		903		14,182	8,932	15,022		38,136	393	16	31
	各務小学校	M6.3	4,197	84		937		7,005	8,524			15,529	163	8	20
	蘇原第一小学校	M6.1	7,412	83		1,307		10,438	8,800		594	19,832	777	29	59
	蘇原第二小学校	S47.4	5,923	96		880		8,286	10,586	297		19,169	482	21	35
	中央小学校	S53.4	4,205	109		866		12,319	8,948	737		22,004	388	17	32
	中学校	那加中学校	S22.5	7,659	229	506	1,532	118	15,115	29,363	895		45,373	589	22
桜丘中学校		S61.4	7,746	325	538	1,231	118	16,892	21,731			38,623	336	13	33
稲羽中学校		S33.9	5,265	88	510	1,076	101	14,780	10,222		3,249	28,251	263	11	27
川島中学校		S22.4	5,299	251	541	1,324	98	4,469	6,530			10,999	398	16	36
鵜沼中学校		S22.5	7,995	322	499	1,354	101	8,057	25,724	5,994		39,775	513	19	41
緑陽中学校		S53.4	6,801	250	513	1,050	59	10,000	27,959	32,517		70,476	305	11	27
蘇原中学校		S22.5	7,085	283	567	1,556	137	12,465	13,516	548	1,290	27,819	666	24	57
中央中学校		S54.4	7,697	100	511	1,050	101	11,736	20,451	5,379		37,566	740	27	60
各務原特別支援学校	S61.4	2,231			569		7,502	1,500			9,002	54	9	30	

各務原市の教育の流れ

平成30年度～令和5年度

教育ジャンプアップ事業 ～未来を切り拓く資質・能力の育成～

目的	<p style="color: red; font-weight: bold;">主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p>
実施内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>授業改善の具体</p> <p>I. 目指す資質・能力から、単元のねらいや学習内容等（指導計画）を再構成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のねらいや学習内容を三つの柱から整理・精選 ・単元で働かせたい「見方・考え方」の明確化 ・他教科、他学年、他校種、生活や社会との関連づけ ・教科におけるカリキュラム・マネジメント <p>II-①. 主体的な学びの視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習を振り返って次につなげる営み <p>II-②. 対話的な学びの視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の協働、教師等との対話、先哲の考え方を手掛かりに考え自己の考えを広げ深める営み <p>II-③. 深い学びの視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を働かせ、知識を関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう営み </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">事業の全体像【イメージ図】</p> <p style="text-align: center;"> 自分の力で未来を切り拓く子 <small>将来への夢や希望（目標） 粘り強く挑戦する姿勢 社会の変化に対応する力となる「生きる力」</small> </p> <p style="text-align: center;"> 自己肯定感の高まり <small>豊かな生活体験や大人との関わりによって自己理解や自己受容を確める 安心・安全に学ぶことを前提にして確かな学力を身に付けさせる 様々な活動を通して成就感や達成感を味わう</small> </p> <p style="text-align: center;"> 家庭 学校 地域 </p> <p style="text-align: center;"> <small>豊かな情操・基本的な倫理観の涵養 自制心や自立心の育成</small> <small>学びに向かう力・人間性等の涵養</small> <small>コミュニティ・スクール 社会規範・自主性の育成 地域の教育資源の活用</small> </p> <p style="text-align: center;"> <small>生きて働く知識・技能の習得</small> <small>思考力・判断力・表現力等の育成</small> </p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;"> “主体的・対話的で深い学び”の視点からの授業改善 </p> <p style="text-align: center;"> 社会に関わった教育課程 <small>（よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創るという目標を共有し、連携・協働）</small> 「カリキュラム・マネジメント」の実現 </p> </div> </div>

令和6年度 教育新事業に向けての推進体制

- ・校長会と市教委（オープン授業）が連携しながら、授業交流（研究授業への参加等）を積極的に推進する。
- ・教育新事業について市内教職員へ周知および共通理解する。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業改善を視点とした研修会を実施する。

平成7年度～令和9年度

教育新事業

目的	<p style="color: red; font-weight: bold;">全ての生徒たちの可能性を引き出し、持続可能な社会の発展に向けて学び続ける子供の育成</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">～「個別最適な学び」「協働的な学び」それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善※3を通して～</p>
実施内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>新事業の基本方針</p> <p>教育ジャンプアップ事業の成果や、「令和の日本型学校教育」等、今、学校教育に求められていることをバックボーンとし、学習指導要領に基づき、「全ての生徒たちの可能性を引き出し※1、新しい時代に求められる資質・能力を育むこと並びに持続可能な社会の発展に向けて学び続ける子供を育む※2こと」を基本方針とする。</p> <p>※1「全ての生徒たちの可能性を引き出し」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場や考え、価値観をもった人々同士が、混ざり合い学び合うことを重視し、全ての生徒たちの可能性を引き出す。 <p>※2「持続可能な社会の発展に向けて学び続ける子供を育む」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生徒たちが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する。 ・課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく。 <p>※3『「個別最適な学び」「協働的な学び」それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に求められる資質・能力を育むために、学習指導要領の着実な実施を大切にする。特に、「論理的思考力（網羅的に論点を整理して考える力）」と「チームワークを築く力（他者と協働する力）」の2つの視点から授業改善を図る。 </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">授業改善のイメージ</p> <p style="text-align: center;"> 全ての生徒たちの可能性を引き出し、持続可能な社会の発展に向けて学び続ける子供の育成 <small>～「個別最適な学び」「協働的な学び」それぞれの学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して～</small> </p> <p style="text-align: center;"> 理論的思考力 チームワークを築く力 </p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;"> 主体的・対話的で深い学びの実現 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">主体的学びの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ必要性・課題解決の見直し ・新たな問題場面に活用させる学習活動 ・学習をふり振り返り意味付ける評価活動 等 <p style="text-align: center;">＜個別最適な学び＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■指導方法や指導体制の工夫改善 →「個に応じた指導」の充実 【指導の個別化】 ・個の特性や学習進度に応じた指導方法、教材等の提供 <p style="text-align: center;">＜協働的な学び＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「個別最適な学び」が孤立した学びに陥らないよう、探求的な学習や体験活動等や多様な他者との協働の場を設定 ■一人一人のよさや可能性を生かし、異なる考え方を組み合わせることによる、よりよい学びの創出 </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">対話的な学びの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを伝え合い、広がりや深まりを自覚する学習活動 ・教科書、図書文献、地域や社会の学習材等を活用するとともに、必要な情報を収集し、考えを構築する活動 等 </div> </div> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;"> 「ICTの活用」・「指導と評価の一体化」 </p> <p style="text-align: center;"> 深い学びの視点 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた資質・能力が、様々な課題の対応に生かせることを実感する活動 ・各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせる活動 ・習得した知識・技能、思考力等を、他教科等の見方・考え方が結び付けて理解する活動 ・身に付けた資質・能力を活用・発揮させながら、新たな問題を見いだし解決に取り組む活動 等 <p style="text-align: center;"> 求められる資質・能力から、教科・単元・単位時間等で育てたい資質・能力を三つの柱より明確にする。 </p> <ol style="list-style-type: none"> ①生きて働く「知識・技能」 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」 ③学びを生かそうとする「学びに向かう力・人間性」 <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">カリキュラム・マネジメント</p> </div> </div>

教育委員会のあゆみ

年 月	事 項	年 月	事 項
昭和38年4月	4町(那加・稲羽・鵜沼・蘇原)が合併し、 各務原市が誕生	昭和55年5月	少年自然の家開所
5月	教育委員会発足 (事務局:総務課・学校教育課・社会教育課)	6月	那加地区体育館開館
	市補導協会(福祉事務所内)の活動開始	昭和56年4月	ひばりが丘幼稚園開園
9月	第一回市民体育大会開催	5月	陸上競技場開場
10月	社会教育委員条例制定 市民の歌・各務原音頭発表	11月	飛鳥グランド開場
昭和39年3月	小学校及び中学校設置条例制定	昭和57年3月	稲羽地区体育館開館
昭和41年4月	稲羽地区・蘇原地区公民館開館	昭和58年3月	「各務原市史」刊行開始
5月	青少年を守る都市宣言を行う	4月	保健体育課を体育課に改称
昭和44年5月	勤労青少年運動場完成	10月	総合体育館開館
10月	第一回市民体育の日大会を開催 炉畑遺跡竪穴式住居跡発見	昭和59年4月	陵南小学校開校
昭和45年4月	保健体育課を設置	6月	大牧1号古墳を市史跡に指定
7月	蘇原支所内に民俗資料館を開館	昭和60年9月	鵜沼地区体育館完成
昭和46年8月	那加中に市民プール開場	昭和61年3月	蘇原地区体育館完成
昭和47年4月	少年補導センター開所 学校給食センター開所 蘇原第二小学校開校 炉畑遺跡公園開園	4月	桜丘中学校、各務原養護学校開校
昭和48年4月	蘇原幼稚園開園	昭和62年3月	鵜沼西地区体育館完成
10月	市民憲章制定	5月	文化ホール開館
昭和49年4月	鵜沼第三小学校開校 那加地区、鵜沼地区公民館開館	平成元年4月	スポーツ広場完成
11月	村国座が国重要有形民俗文化財に指定される	5月	市民プール(温水)完成 (流水は2年7月・50m 公認は3年6月完成)
昭和50年4月	勤労青少年ホーム開館	8月	市民球場・勤労者総合グランド完成
昭和51年4月	尾崎小学校、緑苑小学校開校	平成2年4月	社会教育課を生涯学習課に改称 文化課を設置
昭和52年2月	中央公民館が開館	平成3年7月	中央図書館が開館(4階に視聴覚センター、3階に 埋蔵文化財調査センター)
3月	文化財保護条例制定	平成4年4月	多目的運動広場完成
4月	八木山小学校開校	平成5年7月	各務原市産業文化センター完成 7階に教育委員会事務局移転 4階に西生涯学習センター開館
7月	視聴覚ライブラリー設置	平成6年2月	第1回かかみがはらシティマラソン開催
10月	市民会館開館 向山運動公園開場	平成8年4月	事務局の生涯学習課と体育課を統合し、生涯学習 スポーツ課に、青少年教育課を青少年女性課に改称
昭和53年4月	緑陽中学校、中央小学校開校 あさひ幼稚園開園 おがせテニスコート開場	平成9年4月	文化・スポーツ振興推進室を設置
8月	弓道場開場	10月	米ユタ州との教育交流を進める覚書に調印
9月	保健文化会館に図書館、歴史民俗資料館、 生涯教育センター開館	11月	市民合唱創作オペラ「かかみ野の空」上演
昭和54年4月	青少年教育課を設置 中央中学校開校 視聴覚ライブラリーを保健文化会館に移転	平成10年1月	教育改革プログラム策定のための「市教育懇話会」発足 全国スポレク祭年齢別バドミントン大会開催
		10月	第14回国民文化祭ぎふ'99開催 木曾川アカデミー開設
		平成12年4月	視聴覚センターを総合教育メディアセンターに改称 少年補導センターを少年センターに改称
		7月	岐阜県グリーンスタジアム開場
		8月	平成12年度全国高等学校体育大会開催
		9月	文化・スポーツ振興推進室を廃室

年 月	事 項	年 月	事 項
平成 13 年 5 月	米国加州セリトス市との教育交流を進める覚書に調印	8 月	各務野冒険塾開塾
8 月	木曽川音楽祭 2001 開催	平成 22 年 3 月	千人で奏でる吹奏楽の響き開催
平成 14 年 4 月	第 31 回全日本中学生ホッケー選手権大会開催	平成 23 年 4 月	緑苑小学校・緑陽中学校給食調理業務民間委託 「本の街かかみがはら」推進事業開始 不登校0を目指してプロジェクト事業開始 小学校 1・2 年生を対象にしたコーディネーション スクールを開催
平成 15 年 4 月	かかみがはら国際チャレンジカップ競技大会 (世界女子ホッケー6ヶ国大会・岐阜)開催	8 月	埋蔵文化財調査センターが中央図書館から水道 庁舎へ移転
11 月	生涯学習スポーツ課を生涯学習課とスポーツ課に分ける	平成 24 年 4 月	尾崎小学校・桜丘中学校給食調理業務を委託 「スポーツの街かかみがはら」推進事業開始 ロンドンオリンピック男女ホッケー競技予選大会 開催 各務野科学ラボ事業開始
平成 16 年 4 月	木曽川学研究所を設置(文化課を吸収) 歴史民俗資料館を市立中央図書館3階へ移転	9 月	第 67 回国民体育大会ぎふ清流国体を開催 (ホッケー競技・軟式野球競技・銃剣道競技)
11 月	2003 音楽ウィーク開催	平成 25 年 3 月	かかみがはらシティマラソンにハーフマラソンの 部を新設
平成 17 年 3 月	青少年女性課を青少年教育課に改称	11 月	岐阜県グリーンスタジアムにて、第 3 回アジア チャンピオンズトロフィー開催
4 月	市民プールの管理を指定管理者に移行	平成 26 年 4 月	産業文化部を産業活力部に改称 観光文化課をブランド創造課に改称 ライフデザイン課をいきいき楽習課に改称
11 月	市民プール、川島公民館、川島ふるさと史料館	11 月	埋蔵文化財調査センター、歴史民俗資料館が文 化財課へ移管される
平成 18 年 4 月	幼稚園3園を廃園	6 月	スポーツ課、グリーンスタジアム管理室が教育委 員会へ移管される
4 月	木曽川学研究所より分かれて文化財課を新設	11 月	教育委員会に教育委員会事務局長を新設 鵜沼第三小学校・陵南小学校給食調理業務を 委託
11 月	組織改編により、生涯学習課(ライフデザイン課に改 称)、スポーツ課、木曽川学研究所、中央公民館、 西生涯学習センター(西ライフデザインセンターに改 称)、川島公民館、市民プール、グリーンスタジアム 管理室、市民会館、歴史民俗資料館、川島ふるさと 史料館、勤労青少年ホームが市長部局に新設され た文化創造部へ移管される (生涯学習、芸術・文化、スポーツに関する事務を 文化創造部の職員に補助執行)	6 月	各務原寺子屋事業開始
11 月	蘇原中学校給食調理業務を民間委託	11 月	勤労青少年運動場リニューアル工事開始
平成 19 年 4 月	文化創造部中央公民館、川島公民館、 勤労青少年ホームが中央ライフデザインセンター、 川島ライフデザインセンター、青年館に改称され、 東ライフデザインセンターが新設される	11 月	川島合併 10 周年記念事業「かかみがはら DE ウォーキング 2014」開催
8 月	学校経営予算の導入	平成 27 年 1 月	小学校 9 校、空調整備
8 月	市民会館の管理を指定管理者へ移行	4 月	勤労青少年運動場を総合運動公園に改称
9 月	各務野立志塾開塾	7 月	少年センター相談部門の愛称を「ほっとステー ション」と命名
9 月	子どもの生活リズム向上全国フォーラム in 岐阜・ 各務原開催	11 月	第 1 回防災キャンプの開催
10 月	教育国際シンポジウム開催	11 月	米国エバレットコミュニティカレッジと教育 交流等を進める覚書に調印
平成 20 年 4 月	学校給食センター老朽化に伴い移転改築、供用 開始と同時に業務を民間委託	平成 28 年 1 月	小学校 8 校、空調整備
5 月	総合教育メディアセンターを廃止しその業務を 中央図書館に吸収	4 月	八木山小学校給食調理業務を民間委託
5 月	中央図書館に吸収	9 月	第 70 回全国レクリエーション大会 in 岐阜を開催
平成 21 年 3 月	北京オリンピック男子ホッケー競技予選大会開催	平成 29 年 1 月	中央ライフデザインセンター全面改修、リニュー アルオープン
4 月	各務野吹奏楽アカデミー開校	3 月	中学校 8 校、空調整備 総合運動公園がリニューアルオープン
4 月	「村国座 平成の大修理」竣工		
4 月	文化創造部と産業部を統合し産業文化部に改称		
4 月	木曽川学研究所と観光交流課を統合し、観光文化 課に改称		

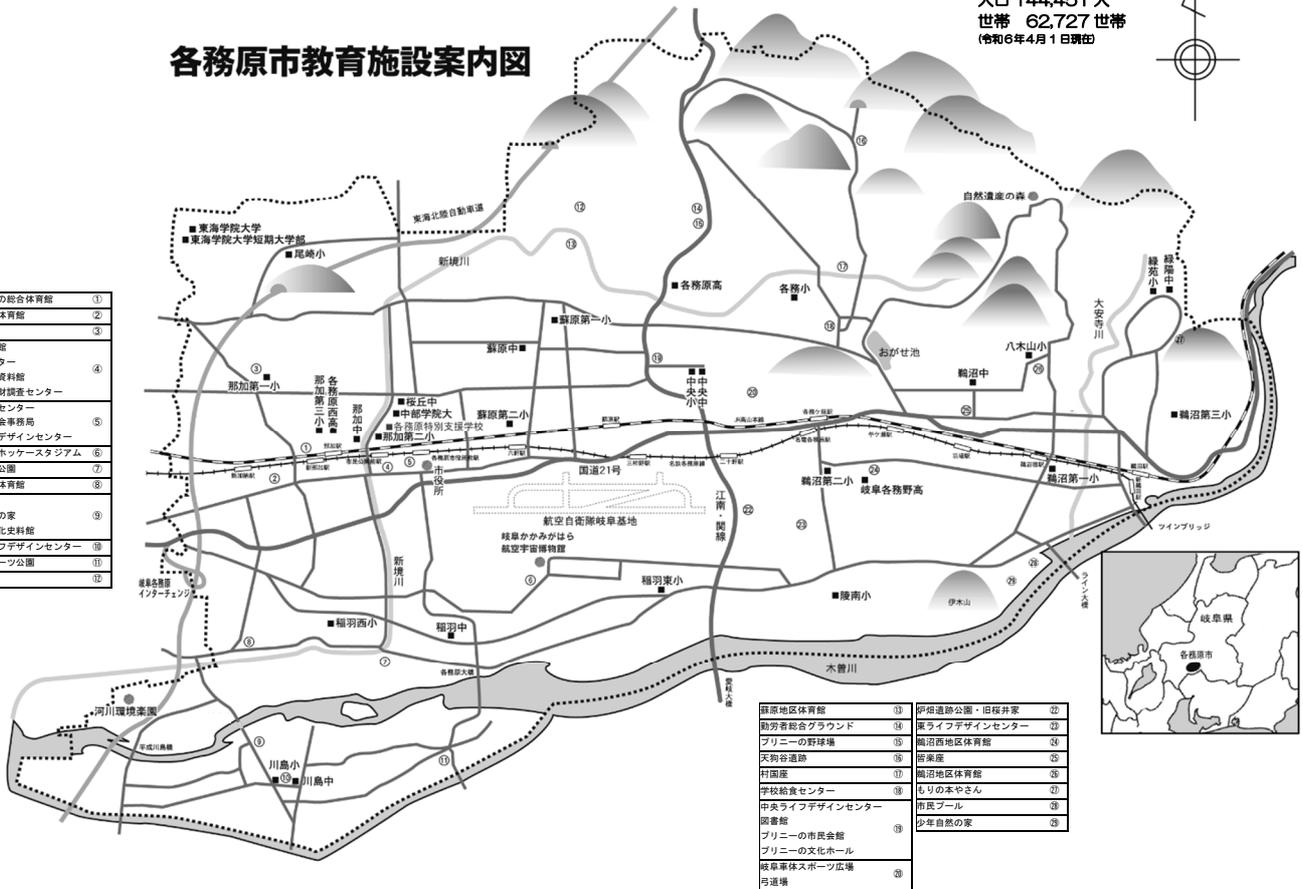
年 月	事 項	年 月	事 項
4 月	各務原養護学校が各務原特別支援学校に改称	4 月	鵜沼中学校給食調理業務を民間委託
7 月	教育センター「すてっぷ」を中央図書館に開設	5 月	各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画を策定
10 月	埋蔵文化財調査センターが水道庁舎から中央図書館へ移転	7 月	川崎重工ホッケースタジアムにトレーニング棟が開場
平成 30 年 3 月	川崎重工ホッケースタジアムにて 2017 女子アジアカップを開催	8 月	緑苑小学校給食調理業務を学校給食センターに移管
4 月	第 25 回かかみがはらシティマラソンを設立 100 周年の各務原飛行場にて特別開催	令和 3 年 1 月	弓道場を老朽化のため移転新築
4 月	放課後児童クラブ事業を教育委員会総務課に移管	3 月	川島スポーツ公園をリニューアル整備
7 月	青年館を東ライフデザインセンターに統合	4 月	各務原市新総合体育館整備基本構想を策定
8 月	歴史民俗資料館が中山道鵜沼宿町屋館から中央図書館へ移転	4 月	東京 2020 オリンピック聖火リレーを開催
11 月	平成 30 年度全国高等学校総合体育大会を開催	令和 4 年 2 月	各務原市特別支援学校整備基本構想・基本計画を策定
平成 31 年 4 月	旧川上家別邸が国指定有形文化財に指定される	4 月	(一財)かかみがはら未来文化財団設立
令和 2 年 3 月	第 26 回飛騨・美濃歌舞伎大会かかみがはら 2018 を開催	4 月	学校施設課を教育委員会に新設
4 月	稲羽西小学校給食調理業務を民間委託	9 月	川島小学校・川島中学校給食調理業務を民間委託
5 月	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため	令和 5 年 8 月	緑苑小学校・稲羽東小学校に小規模特認校制度を導入
5 月	中特別支援学校を臨時休業		陵南小学校給食調理業務を学校給食センターに移管
4 月	教育施設整備推進室を教育委員会に新設		

各務原市教育施設案内図

人口 144,451 人
世帯 62,727 世帯
(令和 6 年 4 月 1 日現在)



- ① プリーニの総合体育館
- ② 那加地区体育館
- ③ 桜体育館
- ④ 中央図書館
教育センター
歴史民俗資料館
埋蔵文化財調査センター
- ⑤ 産業文化センター
教育委員会事務局
西ライフデザインセンター
- ⑥ 川崎重工ホッケースタジアム
- ⑦ 総合運動公園
- ⑧ 稲羽地区体育館
- ⑨ 川島会館
川島ほんの家
木曾川文化史料館
- ⑩ 川島ライフデザインセンター
- ⑪ 川島スポーツ公園
- ⑫ 飛鳥球場



- ⑬ 稲原地区体育館
- ⑭ 勤労者総合グラウンド
- ⑮ プリーニの野球場
- ⑯ 天狗谷運動場
- ⑰ 村田産
- ⑱ 学校給食センター
- ⑲ 中央ライフデザインセンター図書館
- ⑳ プリーニの市民会館
プリーニの文化ホール
- ㉑ 岐阜県体育スポーツ広場
弓道場
- ㉒ 伊豆山公園・旧母井家
- ㉓ 東ライフデザインセンター
- ㉔ 鵜沼西地区体育館
- ㉕ 稲葉産
- ㉖ 鵜沼地区体育館
- ㉗ もりの本やさん
- ㉘ 稲長プール
- ㉙ 少年自然の家

各務原市教育委員会

〒504-8555 各務原市那加桜町1丁目69番地

TEL : 058-383-1111(代) FAX : 058-389-0218

URL : <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/>